

大府市水道持続ビジョン2035（案）に対する意見の概要と市の考え方

ページ	意見の概要	市の考え方
10	水の使用量減少による収入減、愛知県営水道料金値上げ、物価高による維持管理費の増加、施設の大規模改修を値上げの理由としていますが、不交付団体で財政力のある大府市ですので、物価高で苦しむ市民の水道料金の値上げは再検討してください。	水道事業は、独立採算制の原則により、運営経費を主に水道料金で賄っています。料金改定は、計画期間内の投資・財政計画を策定した上で、事業を将来にわたり安定的に運営することを目的として実施するものです。[P56～P62]
11, 33, 37, 55	技術の維持・継承のため、職員数をこれ以上減らさず、あわせて専門職員の増員を行ってください。	
11, 33, 36, 37, 55	組織について、きめ細やかな施設の維持管理をするために、2031年度からと言わず、早急に水道技術職員を増員してください。	技術力の向上及び人材育成については、重点的に取り組む実現施策に位置付けています。研修等へ積極的に参加することで知識の習得及び技術力の向上を図るとともに、経験豊富な職員からのOJTや内部研修を通じて、経験により培われた知識や技術を円滑に継承し、持続可能な事業運営を実現します。[P48]
33, 37	安心・安全な状況で「命を守る水」を市民に提供するための技術低下が進行しないよう、知識・技術を継承するための費用を十分確保してください。	
12	水質検査におけるPFASの項目にPFHxSも追加してください。検査義務がない項目であっても、市民の健康にかかわる問題の項目は市独自で検査し、問題点があれば市民に公表し、速やかな対応をお願いします。	本市は、愛知県から水道水を100%受水している中で、愛知県が実施する浄水場における原水及び浄水の水質検査により、PFHxSの検査状況を把握し、市公式ウェブサイトにおいて公表しています。引き続き、国の動向や新たな科学的知見、県の検査結果等を注視し、適切に対応してまいります。[P44]
19～23	何かあったときのためにワルカウォーターのようなものを使って水を確保するような案を、将来的に検討する余地があると思います。	災害時において、安定的に水を確保するためには、平時からの備えに加え、多様な手段を検討しておくことが重要であると考えております。本計画中、P45、6.2.2 災害時の事後対策の充実(2)官民連携による災害に強いまちづくりの項目を「市民の民間受水槽への非常用給水栓の設置を推奨するとともに今後も最新技術の動向を注視し、官民が連携して、災害に強いまちづくりを目指します。」に改めます。